

## 没後 20 年 特別展 星野道夫の旅

アラスカの自然と動物をこよなく愛した写真家・星野道夫（1952-1996）の仕事約 250 点の写真で回顧します。星野が 1996 年 8 月ロシア・カムチャツカ半島クリル湖畔で熊に襲われ亡くなってから 20 年。彼の写真は今でも私たちに大きな感動を与えています。

本展では動物写真の魅力だけでなく、星野がアラスカに魅せられることになったきっかけ、写真家としての取り組み、挑戦、葛藤など心の内面も紹介します。

展覧会名	没後 20 年 特別展 星野道夫の旅
会期	2017 年 8 月 5 日（土） - 2017 年 9 月 3 日（日）
作品数	約 250 点
会場	久留米市美術館（本館 1 階）
主催	久留米市美術館、朝日新聞社、RKB 毎日放送
特別協力	星野道夫事務所
協力	富士フィルムイメージングシステムズ株式会社
スペシャルパートナー	株式会社ブリヂストン
オフィシャルパートナー	学校法人久留米大学、株式会社筑邦銀行、株式会社森光商店
後援	久留米市教育委員会
入場料	一般 800 円（600 円）、シニア 600 円（400 円）、大学生 500 円（300 円） 高校生以下無料 ※（ ）内は 15 名以上の団体料金、シニアは 65 歳以上、 前売りあり（500 円）（P コード 768-206 L コード 86085） 上記料金にて石橋正二郎記念館もご覧いただけます。
開館時間	10:00-17:00（入館は 16:30 まで）
交通案内	JR 博多駅より JR 久留米駅まで新幹線で 20 分（在来線あり） 西鉄福岡（天神）駅より西鉄久留米駅まで特急で 30 分、急行で 40 分
本展に関する お問い合わせ	久留米市美術館 展覧会担当：泉田佳代 広報担当：松隈知子 〒839-0862 福岡県久留米市野中町 1015（石橋文化センター内） TEL0942-39-1131 / FAX0942-39-3134

### 関連事業

夏休み 小・中学生対象ワークショップ「写真絵本をつくろう！」 事前申込制

展覧会を見たあと、星野道夫の写真に文章をつけ、オリジナルの写真絵本に仕上げます。

日 時：8 月 20 日（日）（午前の部）10:00-11:30（午後の部）13:00-14:30

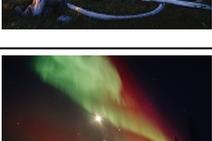
講 師：中川たくま（デザイナー）音成葉子（エッセイスト）

対 象：小学校 4 年生-中学生（小学生の場合は保護者の引率をお願いします。ご希望で保護者も参加いただけます）

定 員：各回 15 名 参加費：無料（ただし保護者は展覧会チケットが必要）

\*詳しくはチラシをご覧ください。

展覧会のみどころおよび広報用画像一覧

No.	作品	キャプション
<b>第1章：イントロダクション（アラスカとの出会い）</b> 星野道夫がアラスカに行くきっかけとなった写真集「ALASKA」や、そこに写っていたシシュマレフ村の写真に惹かれ、村長宛てに出した手紙などを展示。星野の旅のはじまりを紹介します。		
1		カリブーの季節移動を待つ星野道夫
2		草むらに潜むグリズリー
<b>第2章：マスターピース</b> 星野の作品から、傑作、代表作を紹介。迫力の大写真でお楽しみいただけます。		
3		雪解けのツンドラをさまようカリブー
4		滝を越え遡上してきたサケとグリズリー
5		氷の世界に生きるホッキョクグマの親子
6		夕暮れの極北の河を渡るカリブー
7		クジラの骨の遺跡とベーリング海に浮かぶ半月 (ロシア、チュコト半島)
8		夜空に舞うオーロラと満月

9		<p>蘚類に覆われたレインフォレスト</p>
<p>第3章：生命のつながり                  (マスターピース、風景、そこで暮らしている動物、人とのつながり)                  星野がとらえたアラスカの大自然の中でつながってゆく生命、躍動する自然のありさまを紹介します。</p>		
10		<p>ザトウクジラのブリーチング</p>
11		<p>氷上でくつろぐホッキョクグマ</p>
12		<p>山岳地帯に生きるドールシープの親子</p>
13		<p>タテゴトアザラシの赤ちゃん                  (カナダ、セントローレンス湾)</p>
<p>第4章：神話の世界                  アラスカに伝わるワタリガラスの神話に導かれ、星野が近づきたかったという神話の世界を紹介します。</p>		
14		<p>北極圏のツンドラを移動するカリブーの群れ</p>
15		<p>白夜の北極海にクジラを追う</p>
16		<p>秋のツンドラに佇むカリブー</p>
17		<p>トーテムポールのそばで草をはむ鹿                  (カナダ、ハイダ・グワイ)</p>

<p>第5章：星野道夫の部屋</p> <p>星野がしばしばフィールドで撮ったセルフポートレート、使用していた撮影機材やNHKが生前の星野に取材した映像で、ひたすら自身のテーマを追った写真家の姿、また、その人となりに迫ります。</p>		
18		南東アラスカの森で倒木に腰かける

作品掲載に関するお願い

1. 作品掲載をご希望の方は、別紙の「画像利用申込書」にて申請ください。
2. 展覧会の広報を目的とした使用に限らせていただきます。二次使用はできません。
3. 久留米市美術館および朝日新聞社の校正が必要となります。画像、文章のレイアウトが出来た時点で美術館にメールにてお送りください。美術館から朝日新聞社にも確認をとり、結果を連絡いたします。時間を要する場合がありますので、お早めにお申し込みください。
4. 作品の文字のせ、トリミングはできません。
5. 写真の掲載にあたっては、展覧会名、会期、会場など本展覧会の基本情報とともに、クレジットとして「撮影：星野道夫」を必ず記載してください。
6. キャプションは本プレスリリースの「展覧会のみどころおよび広報用画像一覧」をご参照ください。
7. 掲載見本を必ず1部お送りください。